

第6回砺波市立学校規模適正化検討委員会 議事録

- 1 開催日時 令和6年12月24日（火）午前10時30分～午前11時30分
- 2 開催場所 砺波市役所 3階 小ホール
- 3 出席委員の氏名（50音順 敬称略）
朝倉 耕三、飯田 大輔、今井 潔、小幡 和彦、堅田 雄志、加藤 雅美、近藤 恵美子、
坂本 拳弥、笹田 茂樹、柴垣 慎哉、杉森 智和、林 千代、廣瀬 敬一、堀田 隆、
前田 幸雄
- 4 欠席委員の氏名（50音順 敬称略）
竹山 美紀
- 5 事務局の氏名
白江 勉（教育長）、安地 亮（事務局長）、幡谷 優（教育総務課長）、
田中 博晃（教育総務課主幹）、水木 靖（教育総務課主幹）、平田 裕司（教育総務課主幹）

6 委員会次第

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1 開会2 委員長あいさつ3 議事<ol style="list-style-type: none">（1） 第5回砺波市立学校規模適正化検討委員会からの経過について（2） 般若中学校区及び庄川中学校区における主な意見について（3） 答申書（案）に記載する内容について4 その他<ul style="list-style-type: none">・今後のスケジュールの確認5 閉会 |
|--|

7 委員会の要旨

- | | |
|-----|--|
| 委員長 | <委員長あいさつ>
本日は、お忙しいところお集まりいただきまして誠にありがとうございます。
本日の会議は、この委員会が提出する答申案の骨子を決めればと考えておりますので、進行にご協力をよろしくお願いします。 |
| 委員長 | それでは、規定に従いまして私の方で議事を進めさせていただきます。
まず、議事（1）の「第5回砺波市立学校規模適正化検討委員会からの経過について」と、（2）「般若中学校区及び庄川中学校区における主な意見について」まとめて事務局から説明願います。 |
| 事務局 | <議事（1）第5回砺波市立学校規模適正化検討委員会からの経過について 説明>
<議事（2）般若中学校区及び庄川中学校区における主な意見について 説明> |
| 委員長 | 事務局から議事（1）第5回砺波市立学校規模適正化検討委員会からの経過についてと議事（2）般若中学校区及び庄川中学校区における主な意見について資料No.1と資料No.2を用いて説明がありました。
今回は、保護者アンケートの結果等を踏まえて、委員の皆様からいただいたご意 |

見を基に、各地区の保護者の方々にフィードバックを事務局の方でしていただきました。

また、市の考え方についても具体的に説明されたということです。今ありました説明、議事（１）と議事（２）に関して、何かご意見やご質問等ありましたら願います。

委員 資料No.2の各地区の報告会において、主な意見が記載されていますが、その意見の中で質問的な意見があるのですが、これについて回答はされたのでしょうか。

特に校区外の就学の問題と庄西中学校区への説明についてはいかがですか。

事務局 質問に関する回答も順次１つ１つしてきたところであります。

校区外への就学については、今のところ考えていないということ。例えば、東般若地区でも、高岡市の中田地区に近いからそれも検討すべきではないかとか、庄川地区では南砺市の井波地区に近いからそれも検討すべきではないかとかのご意見もありましたが、行政をまたぐ区域変更については、現在のところ考えていないということをお話ししてまいりました。

庄西中学校区に説明をすべきではないかということについては、地元からの要望もあるため、１月末から２月にかけて説明に伺う予定であります。

委員 行政区をまたぐことについては、考えていないということですが、庄川中学校区から出町中学校区への就学についてはいかがですか。

事務局 庄川中学校区から出町中学校区への就学につきましても、現在のところ考えていないとの回答であります。

子供たちのことを考えると、せっかく小学生まで一緒に学んでいたのに中学生になると離ればなれになるということは可哀想だと考えているため、同じ中学校に通わせてあげたいという私どもの思いであります。

委員 大筋の方向は決まっていると思うのですが、統合ありきで話が進んでいるんじゃないかという風な、皆さんそういう感じをもっておられることから、その辺の理解をやはりもう少ししてあげないといけないと考えております。年明けになるとは思いますが、詳しい説明をまたお願いしたいと思います。

事務局 承知いたしました。

委員長 庄東地区未来を考える協議会での保護者アンケートの結果に関してはいかがですか。

委員 結果としては、庄西中学校、般若中学校、庄川中学校の３校統合ということが、般若中学校、庄東小学校、庄東認定こども園の保護者すべて一番多い結果となりました。

詳細を見ていくと、般若中学校と庄東認定こども園の保護者の意見としては、「統合ありきなんじゃないか」とか、「もう統合しか聞いてもらえないのであれば、もう致し方なく賛成します」というような回答も正直多かったです。対して、小学校に関しては結構細かく情報をお出しし、集まるたびにこういった方向にしたらどうだとか、こういう方向で行った時のメリット、デメリットはこういうものじゃないだろうかという意見の場を比較的多く設置していたこともあって、３校統合が結果的に圧倒的に多くなりました。

委員長 ありがとうございます。アンケート調査の結果、般若中学校区及び庄川中学校区とも３校統合といった意見が多かったと。ただ、統合ありきじゃないかという風な方や仕方なくという風な方もおられるということで、先ほども委員の方からも意見があったように地区をまわって、丁寧に説明をしていただくということが大切ですね。

資料No.2を見ましても、全体的に３校統合ということを前提にした意見が多いような気がします。ただ、通学区域とか校区に関しては変更なしということでしたが、様々な質問も出ておりますので、今後とも教育委員会の方から丁寧に説明していただく必要があると思われます。

他にご意見がなければ、議事（１）と（２）については、終了したいと思います
が、よろしいでしょうか。

委員 異議なし

委員長 では、これまで出た委員の皆様方の意見を踏まえて、今回、答申書（案）に記載
する内容について協議をしたいと考えておりますが、いかがでしょうか。よろしい
でしょうか。

委員 異議なし

委員長 それでは、事務局の方で準備された、議事（３）の「答申書（案）に記載する内
容について」説明願います。

事務局 <議事（３）答申書（案）に記載する内容について 説明>

委員長 資料№.3に基づいて説明をしていただきましたが、まず１つ目の基本的な考え方
については、適正規模の基準とか望ましい学級数について記載されておりますが、
これはこの適正化検討委員会の前身であった砺波市立学校のあり方検討委員会で提
言した数値となっております。

２番目の適正配置の具体的方策については、中学校の再編案、そして庄西中学校、
般若中学校、庄川中学校の３校統合ということが基本的な再編方針ということにな
ります。

その再編に伴って、通学距離が変更になることから、その対応についてスクール
バスの活用やあるいは１級河川「庄川」を越えなければならない生徒への配慮等を
盛り込む。また、再編の時期については、最適地での新校舎の建設や開校目標年度
など、そういったことも盛り込めたらと考えております。

それから、３番目のその他、今後検討すべき事項については、（１）から（７）ま
で、こういった項目を検討すべきということですが、この資料№.3の答申案、記載
すべき内容について、ご意見やご質問がありましたらお願いいたします。

委員 確認なのですが、資料№.3の２（２）に記載されている通学とは、登校ですか。
それとも登下校ですか。

事務局 登下校です。

委員 できれば、登下校を記載していただきたい。なぜかと言いますと、学校に行くま
では具体的に様々な方策を考えていただいていると思うのですが、下校に関して、
今後も部活動のあり方について変わってくる点はあるとは思いますが、下校は部活
動にあわせて調整してくださいということになると、保護者の方への負担が多くな
ると思われるので、それも踏まえて検討をしていただければと思います。

もう一つ、スクールバスの利用が基本だと思いますが、スクールバスで通うから
ということで、歩道や街灯、横断歩道がないなどの問題など検討していただければ
と思います。

今後、検討すべき事項について、できれば校名の検討も入れていただきたいです。
いろいろな校風があった３つの学校が一つになるということで、様々な思いが入り
交じることになるのではないかと思います。できればその中でも皆さんの思いが一
つになった校名にしていいただければと思いますので、校名の検討も一つ入れてい
だきたいと思います。お願いします。

委員長 事務局のほうで今ほどのご意見に対して何かありますか。内容に盛り込む形でよ
ろしいですか。

事務局 安全確保につきましては、３その他、今後検討すべき事項の（２）通学路の安全
確保のほうで盛り込んでいきたいと考えております。

委員長 登下校や校名についてはいかがですか。

事務局 答申書につきましては、委員の皆様のご意見をまとめたものになりますので、委員の皆様がそれを盛り込むべきだということであれば、項目に記載していきたいと考えております。

委員長 3その他、今後検討すべき事項に関しては、網羅的に項目が記載されておりますが、この他に付け加えるような事項がありましたら、ご提案をお願いします。

委員 答申書は、具体的には箇条書きで出されるのか、それとも文章化して出されるのか。どちらですか。

事務局 今回、皆様方に項目を決めていただきましたら、次回の検討委員会で文章にしたものをご提示させていただきたいと考えております。資料№3はあくまでも骨子であります。

委員 仮に新しい校舎ができると、それが庄西地区から離れて山側になるとか、あるいは庄東地区になった場合、庄西地区からのスクールバス、例えば油田方面からのものも検討されているのですか。

事務局 仮に新校舎整備を整備しなければならなくなった場合など、場所については本当に未定であります。例えば、庄川地区寄りになったり、庄東地区よりになった場合、通学の距離の基準に基づいて、油田方面からのスクールバスについても検討してまいりたいと考えております。

委員長 先ほどお話しがありましたとおり、通学距離が6km以上でスクールバスを利用する地域が校舎の位置によって変わってくるということは十分あり得ることです。他にいかがでしょうか。

委員 3その他、今後検討すべき事項の(7)の人口増加に向けた地域力向上推進について、具体的にはどういうことを答申書に記載されるつもりなのかお聞きしたい。

事務局 地区説明会などの皆さんのご意見の中で、学校がなくなると活力がなくなり、地域が衰退していくというようなこともあったため、そういったことを見据えて、人口や児童生徒の増加に向けた地域力の向上の推進を図ってほしいということを市に対して答申として盛り込むべきじゃないかということで記載させていただきました。

委員 全国的な人口減少の中で、移住などの方策はあると思うのですが、教育委員会だけで考えるのではなく、市役所を横断した形での移住定住や人口増対策について取り組むなどの観点が必要なのではないかと考えます。

委員長 おっしゃる通りで、地域の魅力をいかにアップしていくかということは、この会議の範疇にとどまらないと思いますし、砺波市全体で考えていくべきだと思いますが、この答申案には、地域力の向上、地域の魅力アップについて検討していただきたい旨の内容を盛り込んでいきたいと思います。

委員 地域での説明会等で、意見の中に校区変更や校区外への就学などについて出ていたと思うのですが、この答申書(案)には位置づけをされていないのですか。

事務局 校区につきましては、地区説明会のほうでもさせていただいたとおり、今のところ変更は考えていないところであります。

この検討委員会の中で、そういったものを項目として盛り込むべきであるということであれば、盛り込むことといたしますが、現状、皆さんからいただいている意見の中では特になかったということで、今回の資料にはあげておりません。

委員 考えていないということをこの答申書(案)の中で記載する必要はないということですか。

事務局 委員の皆様から考えたほうがよいということであれば記載すべきだと思いますが、考えていないということは記載する必要はないと考えております。

委員長 校区の話ができましたが、基本的に教育委員会の考え方としては、現状の校区の変更は考えていないということですが、特にこの委員会でそういったことを盛り込んだほうがいいのかという意見であれば、盛り込むことも不可能ではないと思いますが、いかがでしょうか。

委員 私は盛り込んでほしいです。

委員 私も盛り込んでほしいです。私は庄川町天正地区に住んでおり、近隣の五鹿屋地区の子供が砺波南部小学校に通っているおられ、出町中学校区のため、出町中学校に通学しておられる。庄西中学校と統合という話は保護者の間でも耳に入っているが、私の地域では子供は抜きにして保護者の意見として、スクールバスの基準に当てはまらない場合は、庄西中学校に通うよりも安全面を考慮したら、大きい道を通れる出町中学校に通うほうがいいのかとの意見が多いことは確かであります。そのことから、今の時点では校区の再編も項目として盛り込んでもらったほうがいいのかと思います。

委員 私も今のようなお話を結構PTAのほうからもお聞きしておりまして、なぜそのような意見が出るのかと思ったのですが、校区という考え方が一般にそこまで浸透していなくて、なぜこの3校の統合なんですかという話がしっかりと伝わっていないのではと感じます。そこをしっかりとわかるようにしてあげるといいのではと考えます。

委員 距離の問題については、庄東地区でも話には出ましたが、3校統合は前提ではないのですが、いずれかの学校が統合するというを前提で話してきた中で、移動の通学距離の話は出てきたのですが、例えば他の学校に行くとか、他の市に行くとかということを現実的に比較したことがありませんでした。庄東地区は昔から今まで学区の変更は何回かしてきたところなんです。私たちの父親の時代には般若地区の人たちは中田中学校に通ったりとか、学校も統合が2回ほどあり、その都度いろいろと検討されてきたと思うのですが、今、現時点においてはそういった比較を具体的にすることは無いと思います。仮にこの3校が統合されたとして、例えば出町中学校との具体的な比較した検討は多分ないと思います。前情報が曖昧な状態で、今の時点で骨子に載せるかどうかというのは、どちらの判断がいいのかわからないのですが、あまりにも情報が少ないかなと思います。

委員 骨子の3にその他、今後検討すべき事項とありますので、区域の変更ありきではなく、検討すべき事項として変更しない検討結果でしたということでもいいのかと思いますので、検討はすればいいんじゃないかと思います。ですから、検討してくださいという答申書でいいのかと思います。結果として変更はしないということにはなるかもしれませんが、この検討委員会としては、検討してくださいということでもいいと思います。

委員長 今の件について、事務局いかがでしょうか。

事務局 今回の件につきましては、この答申書（案）の中にどのように盛り込むかについては、事務局に預けていただき、委員長ともお話をしながら、次の第7回で提示させていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

委員長 委員の皆さんよろしいでしょうか。

委員 異議なし

委員 答申書（案）の内容から外れるのですが、私の息子は小学校6年生で、4月に庄

西中学校に入学する予定であります、自転車で通学できる距離は何kmとなっているのですか。

委員 通学の距離は学校ごとに違っており、庄西中学校については自転車小屋が余っているということから、全員乗ってきていいはずです。

委員 資料No.3の2(2)ウ 一級河川「庄川」を越えなければならない生徒への配慮とあるのですが、雪が降る冬場になると自転車には乗ってはいけませんと決まっている中で、庄川の橋の上を中学生が自転車で朝に通学するのはどうなんだろうと思うのですが、自転車で中学生が橋を渡っている姿を見たことはないのですが。大丈夫なのかすごく心配しています。

事務局 中学生の場合、橋の西側に般若中学校があるため、橋を渡る機会や見る機会は少ないとは思いますが。高校生は、いかるぎ大橋や砺波大橋など、通学の際に渡っている姿はよく見かけます。ただ、中学生が風の強い日や雨が降っている日など、歩道幅はある程度確保されているとはいうものの、安全かどうかということを考えると、委員が言われるように配慮が必要だと考えます。

委員 資料No.3の2(2)ウ 一級河川「庄川」を越えなければならない生徒への配慮や3(2)通学路の安全確保について、3校統合となった場合、通学距離がかなり広範囲となるため、保護者の皆さんは安全についてすごく心配されると思います。今後の庄西中学校区の説明会なども含め、通学路の安全確保について丁寧な説明と答申書(案)に文章化される際には丁寧に記載していただきたいと思います。

委員 今ほど自転車通学、送迎の話が出たところですが、現在、庄西中学校でも保護者の送迎車両で道路渋滞を引き起こしているため、答申書には送迎される保護者への対応などの問題を十分に配慮してほしいということを盛り込んでいただきたい。

委員長 今、発言された内容に関しては、どこに新校舎を置くとか、その学校が置かれる場所とか、いろいろ各地区との関係とか詳細に書くことは難しいと考えますが、大まかな内容として、こういう風なことで安全に配慮するというようなことは盛り込めると思います。そのような感じでよろしいですか。

委員 異議なし

委員長 それでは、ご意見やご質問については以上とさせていただきます。

今ほどのご意見などの内容をまとめさせていただきますが、特に資料No.3の2(2)のところで、通学距離のところに登下校を明記してほしい、同じく2(2)のイ、ウで実際の通学に関して様々な配慮をしてほしい、それに関連して3(2)通学路の安全確保について、できるだけ可能な範囲で配慮した内容を書き込んでほしい、それから、3(7)その他、人口増加に向けた地域力向上推進について、地域の魅力アップに関しては市や他のところと連携して考えていくような内容、新たに出てきたご要望としては、3(7)その他の中に校名の検討や校区について検討してほしいといった内容などがありましたが、それらを答申案に盛り込むということではよろしいでしょうか。

委員 異議なし

委員長 それでは、今ほど言いました内容を次の会議で答申案に盛り込んで紹介していただけたいと思います。

では、以上で本日予定しておりました議事については終了いたしました。本日はこれで議論を終わりたいと存じます。皆様方、ご協力いただきましてありがとうございました。事務局の方にマイクをお返しいたします。

事務局 笹田委員長、ありがとうございました。

最後に事務局より今後の予定についてご案内いたします。

事務局
教育長

<資料No.4 今後のスケジュールの確認について 説明>

<閉会あいさつ>

笹田委員長をはじめ委員の皆様、本日は誠にありがとうございました。

本市の教育について少し話をさせていただきます。

今、幼児教育、小学校教育、中学校教育の接続連携をしっかり進めているところ
であります。子供が主語となるような形で授業改善を進めておりまして、いわゆる
どこの小学校、どこの中学校にいても今の授業の形に変えていっているとそういつ
た状況のソフト面を改善しているところではありますが、今日はハード面等について
色々のご意見をいただきました。

皆様からのご意見にあったように丁寧に説明すること、安全面の話もございまし
た。これからはもちろん、般若中学校区、庄川中学校区は当然ですが庄西中学校区
の皆様にも丁寧に説明してまいりたいと思います。

この先、数十年先を見据えた砺波市としての大きな動きでありますので、丁寧に
説明してまいりたいと思います。

本当に本日はありがとうございました。

事務局

以上をもちまして「第6回 砺波市立学校規模適正化検討委員会」を終了いたし
ます。